

「サルデーニャのラウネッダス舞踊 における音楽と舞踊の相関関係」

金光真理子

イタリアのサルデーニャ島にはラウネッダス launeddasと呼ばれる三管のリード楽器があり、伝統的に舞踊の伴奏を演奏してきた。ラウネッダスによる舞踊（以下、ラウネッダス舞踊）は、地中海地域に広く認められる円舞の一種で、足（脚）の動きとステップを中心とする。踊り手（男女のカップルあるいは同性の複数人の組）は円状に連なり、ステップを踏みながら左回りに進む。ステップは村ごとにいくつかの基本形があり、各カップル（組）がそれらを自由に組みあわせていく。ステップの選択——「いつ」「どの」ステップに代えるか——は一見無秩序に行われているようにみえる。しかし踊り手は「音楽に従って踊る」といい、ステップの選択が音楽の展開と不可分な関係にあることを示唆する。本発表では、踊り手がいかに音楽を聴き、ステップを選択しているかを整理しながらラウネッダス舞踊のユニークな構成原理を明らかにする。

「音楽に従って踊る」とは、第一に、音楽の拍節にあわせて正しくステップを踏むことを前提とする。ラウネッダスの舞踊曲では、1拍が8分音符の3連符から成るリズム型（ $\text{♩} = \text{♩} = \text{♩} = \text{ca}138$ ）を単位として12拍あるいは18拍で一つのフレーズが構成される。舞踊のステップは、1歩が音楽の1拍に対応し、6歩あるいは12歩で一つのステップが構成される。音楽と舞踊は互いに倍数の拍節構造に基づいているため、ラウネッダス奏者がフレーズを自由に組みあわせ、また一方で踊り手もステップを自由に組みあわせ、それでも音楽と舞踊との拍節が過不足なく合致することになる。踊り手は、拍節の判断基準として、フレーズの最終音とステップを閉じる動作とがうまく合致するかどうかを重視している。

第二に、踊り手はラウネッダス奏者が演奏する「ピッキアーダpichiada」（旋律型：サルデーニャ語で「フレーズ」）にリズムや動きが適したステップを選択する。ラウネッダスは三管の音の配列によって九種類（現在）に下位区分され、それぞれに舞踊曲のレパートリーとして師匠から弟子へ口頭で伝承されてきた20～30ほどのピッキアーダの組がある。この一連のピッキアーダは「イスカラiskala」（階段）と呼ばれる。イスカラは長さも内容も旋法によって異なるが、たとえば「パッサ・プンタウpass' appuntau」というすべてのイスカラに共通するピッキアーダでは、踊り手がつま先で一点をつくような（appuntau）ステップ（passu）を踏む。踊り手はピッキアーダに従ってステップ

を決定するが、個々のピッキアーダに特定のステップが決められているわけではない。あくまでもピッキアーダを聴いてステップを選択するのは踊り手である。

ピッキアーダに従ってステップを選択するということは、第三に、ピッキアーダの推移に従ってステップを代えることを意味する。とくにラウネッダス奏者が次のピッキアーダへ移るのと同時に踊り手がステップを代えることは高く評価される。ラウネッダス奏者は、イスカラの一連のピッキアーダを基本的に一つずつ順に（イスカラはいわば路線図のような演奏のアウトラインで、ピッキアーダの順序を入れ替えることはできないが、途中のピッキアーダを省略したり、新たなピッキアーダを挿入することはできる）、即興的に展開しながら演奏する。したがって各ピッキアーダにつき演奏されるフレーズは、数も内容も演奏によって変化する。それにもかかわらず踊り手がピッキアーダの推移を聴きわけることができるのは、踊り手が演奏全体の流れと部分の特徴とを経験的に理解しているからだと考えられる。踊り手は実践を通じてピッキアーダの順序と各ピッキアーダの構成・展開パターンを、一言でいえば、イスカラの構成原理を学んでいる。そのためピッキアーダの展開を予測しながら聴き、次のピッキアーダが始まると同時にステップを代えることができるのである。

舞踊の場では、ラウネッダス奏者が演奏する音楽にあわせて踊り手が踊る一方、奏者もまた踊り手の様子をみながら演奏している。踊り手が熱中してくれば、その高揚感を維持するためにも、一つひとつのピッキアーダにつき充実した演奏を行い、初めから終わりまですべてのピッキアーダを演奏するが、逆に時間の制限や踊り手の具合によっては、途中のピッキアーダを省略し、最後のピッキアーダへ移ることもできる。このような奏者と踊り手のいわばコミュニケーションを支える枠組みとなっているのがイスカラである。深さも広さも自由に調整できる枠組みであるイスカラを介して、奏者と踊り手は相関的かつ即興的にパフォーマンスを創りあげていくことができる。このパフォーマンスのダイナミズムにこそ、ラウネッダス舞踊の「芸術性」があるといつてよい。